

平成26年度施策評価に係る外部評価シート

担当部局名	教育委員会事務局・生涯学習課		
施策名	施策9 生涯学習推進体制の強化		
施策の目的	生涯学習環境の整備を通じ、市民一人ひとりが自分の持つ夢や希望を実現するために、生涯にわたる学びの精神を養えるようにします。		
平成25年度決算(千円)	61,781	平成26年度予算(千円)	67,740

※外部評価委員記入欄

評価項目		判断	判断理由	
① 事務事業の妥当性	<p>この施策を構成する事務事業は妥当であるか？</p> <p>【ポイント】 ●当該施策の推進において事務事業の過不足はないか。必要性・重要度が特に高い又は低い事業はないか。 ●施策評価シート「5. 事務事業の検討」の施策内優先度は妥当か。</p>	A 効果的な構成である	0	●判断理由記載なし。(B) ●「まなびを通じつながりひろがり人と地域を育むまちとだ」の理念に沿う新たな事務事業が必要。さらに、関連部局との連携強化を図り、自治に関わりを持ってもらえる市民を(B) ●行政施策の中で、将来に向けた広く市民対象の学習は大変大事なことだと思います。 今後も行政体制がもし大きな変動があったにしても守るべき施策を絞って維持して欲しい。また、拡充思考で臨んでほしい。(B) ●市民大学、人材バンク、NPO、ボランティアサークルなどの協働によるバランス取りが出来た構成になっていると思われる。活動や企画への参画者、参加者数を向上させることが第一であれば、少し不足しているように思われる。(B) ●総合振興計画にあげられた、主な取り組み(①～④)と事業が対応していない。(C) ●担当課長が1名の下、4つの公民館事業を分ける必要は必ずしもないのではないか。(C)
		B 概ね妥当である	4	
		C 構成に問題がある	2	
② 施策の進捗状況	<p>施策は計画通り進んでいるか？</p> <p>【ポイント】 ●施策評価シート「3. 施策の指標における成果(主な指標)」、「4. 施策の展開(結果と今後の方向性)」や「5. 事務事業の検討」の成果等を参考とする。 ●施策と事務事業の進捗状況の説明内容等を参考とする。</p>	A 躍進中	0	●判断理由記載なし(B) ●取組み①の実施体制の整備には変化が見られない。 取組み②は登録者の拡大中である。 取組み④は指定管理者制度への移行の検討はされている。 全体ではやや遅れのBとも言えるが、大きな遅れとは言えない。(B) ●判断理由記載なし(B) ●概ね予定通り(B) ●計画通り進捗していると思われるが、詰めの甘さが計画通り進んでいないように思われるところがある。(B) ●指標として「登録者数」「参加者数」「講座数」とすべきか、難しい印象のため、Bと判断しました。(参照④欄Ⅱ)(B)
		B 予定通り	6	
		C 遅れ気味	0	
③ 資源の方向性	<p>今後、この施策の資源(人員・予算)の方向性は？</p> <p>【ポイント】 ●施策の目的の達成に向け、現状の人員や予算を来年度以降、どのようにすべきか。 ●個別の事務事業の予算配分は妥当か。</p>	↑ 増加	0	●新規の事業、施策展開が見られないため。(→) ●外部資金導入(企業寄付、財団助成金)により事業費の安定化は可能かもしれない。但し、これは変則的なため、それができる人材が別撰となる。教育の機能自体が大きく変わること考えれば、教育委員会としての業務・人材バランスの再編成の中で、現行の担当人数から、人を異動させて担当するという必要かもしれない。(→) ●27年開設予定の上戸地域交流センターは、機能の複合化(公民館、男女共同参画、図書館、喫茶等)が行われている。今後、生涯学習を行っていくにあたり、残りの3公民館の施設の維持管理においては、限られた財政状態の中でファシリタマネジメントの方針に従い、長寿化、複合化等を検討する必要がある。(→) ●他の部署との連携を図ることにより、資源維持の方向で進めて頂きたい。(→) ●今後、男女共同参画部門との連結等の協働の余地も見込まれるが、一の判断としました。更に増加となるならば、今以上の要素を追加する必要があると思われます。(参照④欄Ⅰ)(→) ●特に固定費について注視し、極力増加を抑えつつ工夫して進めて欲しい。(※判断記載なし)
		→ 維持	5	
		↓ 縮小	0	
		※ 判断記載なし	1	

④コメント欄(今後の施策運用に関する改善策、その他意見等)

●施策の進捗状況を測るための指標群となっていないのは問題である。
 ●多種多様の方々学べる環境を知り、学びに参加することにより市の民度が高まり、地元意識も芽生え、町が良くなるのだと思います。更なる飛躍を期待いたします。
 ●将来的な姿を見据え、10年後、50年後を見据えて施策を展開してほしい。
 ●Ⅰ 戸田市には、高校以上の教育を望む場合に一部しか対応できない面は以前からありますが、今後、生涯学習(市民大学)から発展した、何等かの高校以上の大学等教育機関ができ、まちの活性化、戸田市での一連の教育が完結する市になると、より向上、活性化のシナジー効果が見込まれます。
 Ⅱ ②の指標については、「満足度」としての指標を追加する等で、より参考になると思いました。満足度は参加者へのアンケート集計、関係者へのアンケート集計など、相互の集計が必要。
 全ての希望する参加者への機会の配分が必要だと思いました。